

平成27年3月

油津港大型客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、油津港第10号岸壁・第9号岸壁（一部）への9万GT級、11万GT級、13万GT級、16万GT級客船の入出港及び係留の安全性について調査検討し、必要な航行安全対策をとりまとめた。

検討対象であるこれらの4船型の大型客船については、推進器のタイプが異なること、また、操縦性能の違いが大であること等から、各船型ごとに操船及び係留の安全性について詳細に検討した。操船面での検討については、外力下におけるアプローチ・回頭・着離岸の各要素操船について、ファストタイム操船シミュレーション及びビジュアル型操船シミュレータを用いた操船実験を行って検証し、入出港操船の安全性を調査・検討して必要な航行安全対策をとりまとめた。

特に、今回は対象船が4隻であること等から、限られた期限内にビジュアル操船シミュレータ実験をより効果的かつ効率的に行うために、ファストタイム操船シミュレーションの結果等を踏まえて予め予備操船実験を実施し、本実験ケースの絞り込みを行ったうえで実施した。

また、各船型について、船体に作用する風圧力等の外力影響、岸壁の防舷材吸収エネルギー等を調査し、許容接岸速度及び安全に入出港が可能な気象・海象の外力条件等について取りまとめた。

係留の安全性については、OCIMFの計算手法を用いて、係船柱強度と係留力の関係を確認し、安全に係留可能な条件を検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 基礎調査
- (3) 入出港の安全性検討
- (4) 係留の安全性検討
- (5) 航行安全対策